

記者発表資料

鹿児島県内「事故危険区間」44箇所を選定！！

～事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）※～

【概要】

大隅河川国道事務所と鹿児島国道事務所では、政策目標評価型事業「成果を上げるマネジメント」の導入に伴い、事業の透明性・効率性を一層高めるため、去る12月17日に開催された「鹿児島県交通安全対策会議」において、県内の直轄国道「国道3号・10号・58号・220号・224号・225号・226号」における事故・歩道データや地域の皆さまのご意見を基に、特に事故の危険性が高く、事故対策が望まれる区間を「事故危険区間」として提示しました。今回、鹿児島県の直轄国道における「事故危険区間」について、代表的な44箇所を公表します。

今後は、「事故危険区間」について、交通事故の発生状況や歩行者等の利用状況を調査し、事故発生状況等の分析を行った上で、事故原因に即した効果の高い対策を検討・実施して行く予定です。

※事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）とは

全国では交通事故の71%が幹線道路の22%の区間で発生しています。事故ゼロプランは、このような危険な箇所を地域の方といっしょに選定し、地域の方にも危険な箇所との認識を持っていただきながら、集中的・重点的に交通事故の撲滅に取り組むものです。

◇今回の発表に関する詳しい情報は、下記のホームページ（HP）をご覧ください。

- ・大隅河川国道事務所HP（<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>）
- ・鹿児島国道事務所HP（<http://www.qsr.mlit.go.jp/kakoku/>）

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局

■大隅河川国道事務所	電話：0994-65-2541（代）
技術副所長 きたぞの 北園 たけし 猛	（内線205）
道路管理課長 うえたに 上谷 ふみお 文夫	（内線431）
■鹿児島国道事務所	電話：099-216-3111（代）
技術副所長 いわやま 岩山 じゅんいち 順一	（内線204）
交通対策課長 にいはら 新原 たかひろ 隆博	（内線471）

鹿児島県 事故危険区間の選定の基本的なプロセス

■事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の導入■

限られた予算の中、交通事故が多発する区間等に対して集中的・重点的に交通事故対策に取り組む「**事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)**」を導入

【事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の流れ】

第3者委員会
(県交通安全対策会議等)
地方公共団体等

意見

●事故の危険性が高い特定の区間を明確化
(事故データ、地域の声等)

※事故危険区間リストを公表(今回代表箇所を公表)

■ ■ ■ ■ ■ 今後の予定

○事故原因に即した効果の高い対策を立案・公表

対策に着手

完了後の効果を評価

マネジメントサイクルで改善

事故危険区間の選定方法

STEP 1

県内の事故データ分析

2. 258区間

(事故・歩道データの分析、地域の声の把握)

STEP 2

事故危険区間の選定

334区間選定

(車両および歩行者事故対策の必要な区間)

1. 事故データに基づく選定
(事故多発区間、重大事故発生区間、等)
2. 地元意見に基づく選定
(地域の声、等)

STEP 3

代表区間の抽出

44区間選定

※区間抽出の視点

A. 事故多発区間

- ・死傷事故件数が多い区間
(県平均^{*1}の10倍または年平均5件以上)
- ・死傷事故率が高い区間
(死傷事故率^{*2}300件/億台キロ以上)

B. 死亡・重傷事故多発区間

- ・死亡事故発生区間
 - ・重大事故件数が多い区間
- (県平均^{※3}の5倍または年平均1件以上)

C. 特徴的な区間

- ・人対車両の事故が発生している区間

D. 安全性が危惧される区間

- ## ・地域の声

※1: 県内直轄国道(区間毎)の死傷事故件数の平均は0.89件

※2:「死傷事故率」とは、区間内の走行台キロに占める死傷事故件数の割合を表し、道路を走行する際に事故に遭う確率を表しています。例えば、100件/億台キロは、年間1万キロ走行するドライバー100人の内、1人が事故に遭うことを表しています。

※3: 県内直轄国道(区間毎)の重大事故件数の平均は0.07件

鹿児島県 事故危険区間 位置図

事故危険区間の選定方法

STEP1

県内の事故データ分析

2, 258区間

(事故・歩道データの分析、地域の声の把握)

STEP2

事故危険区間の選定

(車両および歩行者事故対策の必要な区間)

1. 事故データに基づく選定
(事故多発区間、重大事故発生区間、等)
2. 地元意見に基づく選定
(地域の声、等)

↓
334区間選定

STEP3

代表区間の抽出

※区間抽出の視点

A. 事故多発区間

- ・死傷事故件数が多い区間
(県平均の10倍または年平均5件以上)
- ・死傷事故率が高い区間
(死傷事故率300件/億台キロ以上)

B. 死亡・重傷事故多発区間

- ・死亡事故発生区間
- ・重大事故件数が多い区間
(県平均の5倍または年平均1件以上)

C. 特徴的な区間

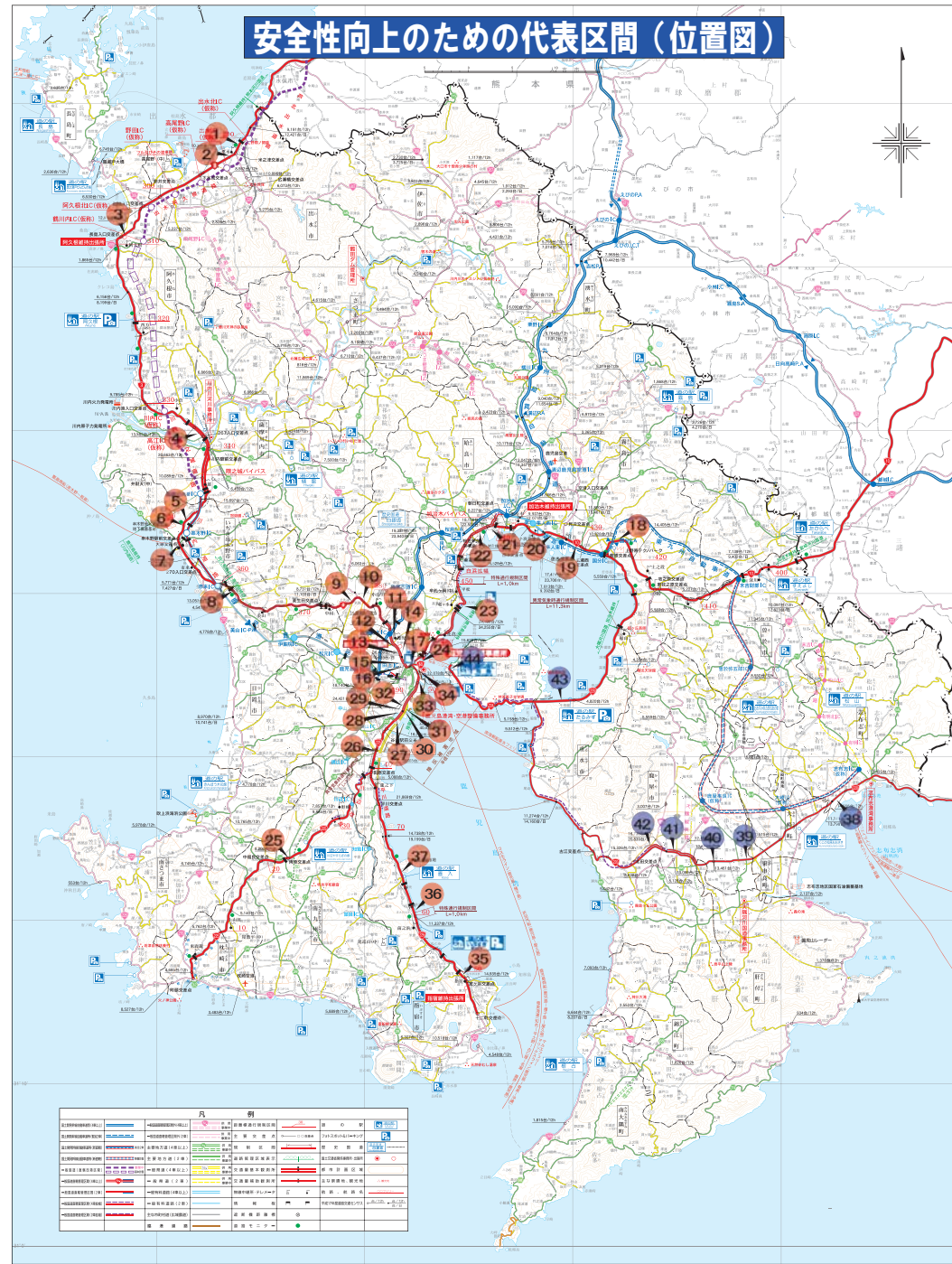
- ・人対車両の事故が発生している区間

D. 安全性が危惧される区間

- ・地域の声

↓
44区間選定

安全性向上のための代表区間 (位置図)



番号 (※)	路線名	箇所名	区間抽出の視点			
			A 事故多発 区間	B 死亡・重傷 事故多発区間	C 特徴的 な区間	D 安全性 の危惧
1	3	出水市米ノ津	●	●	●	
2	3	出水市下知識町(下知識町交差点)	●	●		
3	3	阿久根市赤瀬川(牧内入口交差点)	●	●		
4	3	薩摩川内市大小路町(大小路町交差点)	●	●		
5	3	いちき串木野市上名(上名交差点)	●	●		
6	3	いちき串木野市五反田(五反田交差点)	●	●		
7	3	いちき串木野市須納瀬(大原町交差点)	●	●		
8	3	日置市東市来町湯之元(湯田地区)	●	●		●
9	3	鹿児島市小山村町(小山村町地区)	●	●		
10	3	鹿児島市小山村町	●	●		
11	3	鹿児島市伊敷町(伊敷ニュータウン入口交差点)	●	●		
12	3	鹿児島市玉里町(玉江橋東口)	●	●		
13	3	鹿児島市草牟田(草牟田交差点)	●	●		
14	3	鹿児島市草牟田(草牟田橋東口交差点)	●	●		
15	3	鹿児島市平之町(平田橋交差点)	●	●		
16	3	鹿児島市平之町(中之平交差点)	●	●		
17	3	鹿児島市照国町(照国神社前交差点)	●	●		
18	10	霧島市国分川内(国分鎮守交差点)	●	●		●
19	10	霧島市国分広瀬	●	●		
20	10	霧島市隼人町松山	●	●		
21	10	始良市加治木町岩原(みろく交差点)	●	●		
22	10	始良市始良町(森南交差点)	●	●		
23	10	鹿児島市吉野町大崎	●	●		
24	58	鹿児島市泉町(泉町地区)	●	●		
25	225	南九州市川辺町両添(両添上交差点)	●	●		
26	225	鹿児島市坂之上和田名(和田地区)	●	●		●
27	225	鹿児島市小松原(笹貫交差点)	●	●		
28	225	鹿児島市宇宿(大学病院入口交差点)	●	●		
29	225	鹿児島市宇宿(宇宿町交差点)	●	●		
30	225	鹿児島市新栄町(二軒茶屋交差点)	●	●		
31	225	鹿児島市新栄町(鶴ヶ崎入口交差点)	●	●		
32	225	鹿児島市南元町(南元町入口交差点)	●	●		
33	225	鹿児島市天保山(天保山大橋交差点)	●	●		
34	225	鹿児島市呉服町(三越前交差点)	●	●		
35	226	指宿市宮ヶ原(指宿小前交差点)	●	●		
36	226	鹿児島市喜入町前之浜	●	●		
37	226	鹿児島市喜入町中名	●	●		
38	220	志布志市大字安楽(志布志港入口交差点)	●	●		
39	220	串良町大字岡崎(宮下交差点)	●	●		
40	220	串良町大字上小原(十三家交差点)	●	●		
41	220	鹿児島市王子町(鹿屋市王子町交差点)	●	●		
42	220	鹿児島市西蔵川町(鹿児島市大浦交差点)	●	●		
43	220	垂水市大字牛根麓	●	●		●
44	224	鹿児島市桜島町(徳慶交差点)	●	●		

(※) 青番号…大隅河川国道事務所管内、赤番号…鹿児島県道事務所管内